



2025年12月18日
群馬県昭和村
利根沼田農業協同組合
東日本旅客鉄道株式会社高崎支社

地域の農業を元気に！

群馬県昭和村・JA利根沼田と連携した「援農プログラム」を展開

JR東日本高崎支社は、群馬県昭和村および利根沼田農業協同組合（以下「JA利根沼田」）と連携し、「援農プログラム」を展開します。本プログラムは、群馬県内の農繁期における人手不足の解消を目的に、当社の「副業」制度を活用した社員による農作業への参加、農作業と地域観光を組み合わせた旅行商品の造成、さらに県内の魅力的な農産物を「はこびュン」で首都圏エリアへ輸送することで、地産品のプロモーションと販路拡大等を図る、包括的な取り組みです。

農業の労働力不足に対し、地域と連携して解決をめざすとともに、観光資源としての地域農業の新たな魅力創出にも取り組んでまいります。

1 昭和村における援農プログラム

群馬県北部、赤城山の北西麓の裾野に位置する昭和村は、レタスやほうれん草、とうもろこしをはじめとした新鮮な野菜を首都圏へ供給しており、こんにやく芋の生産量では日本一を誇ります。農繁期には多くの人手が必要ですが、現状は外国人技能実習生や派遣会社、知人等の限られたネットワークに依存しており、人材確保が大きな課題です。

農繁期の労働力不足等の地域課題の解決に向けた取り組みを推進するため、昭和村およびJA利根沼田と連携し、昭和村において援農プログラムを実施します。



昭和村のレタス畑

(1) 第1弾 JR東日本高崎支社 Ai プロジェクト社員（※1）による農作業支援研修の実施

2025年11月20日に、1日農業バイトアプリ「daywork（※2）」の法人向け利用機能（※3）を活用し、こんにやく芋の収穫作業に「研修」として参加しました。その後のワークショップでは、昭和村の農業の現状及び課題等について話し合い、今後の援農プログラムの展開について活発な議論が行われました。



こんにやく芋収穫風景



参加者によるワークショップ

(2) 第2弾 JR東日本社員による副業で農作業支援実施

2026年3月には、第1弾同様に「daywork」の法人向け利用機能を活用し、高崎支社エリアだけではなく、首都圏エリアで働くJR東日本の社員も対象として「副業」による農業支援を実施します。

【日 程】2026年3月26日(木)

【実施場所】群馬県昭和村 農園星ノ環

【内 容】① いちごの葉やつるの剪定等の農作業の実施

② 昭和村・JA利根沼田と、援農プログラム参加者との意見交換

③ 「昭和村農業の持続的成長」をテーマに据えたワークショップの実施

(3) 第3弾 JR東日本社員に限らず一般参加者にも拡大し、農作業支援実施

2026年の夏野菜の時期には第3弾として、第1弾・第2弾の経験をもとに引き続き「daywork」を活用することにより、JR東日本社員に限らず一般の方々にも昭和村の農作業へ参加していただくことを計画しています。

2 援農プログラムの将来展望

JR東日本は昭和村における援農プログラムをスタートし、将来的には群馬県内各地での援農プログラム実施に取り組みます。なお以下に示している各取り組みは、昭和村における援農プログラム第3弾での実現も検討しています。

(1) JR東日本の荷物輸送サービス「はこビュン」等を活用した農作物プロモーションの実施

新鮮な農作物を「はこビュン」を活用し、首都圏主要駅の駅ナカやマルシェ、産直市等に届けることで、群馬県各地の農作物の知名度向上や販路拡大をめざし、群馬県の魅力を発信します。

(2) 農作業体験付き旅行商品の設定

広くお客さまに農業に興味をお持ちいただけるように、農作業を「体験」としてお楽しみいただきながら、農作業を通して地域の魅力も感じることができるといったような旅行商品の設定に取り組みます。

(3) 農業支援参画者の拡大

継続した地域の皆さまとの対話を通じて、「daywork」を活用した副業や、ボランティアでの農作業支援参画者の拡大に努めます。

(※1) Ai プロジェクトについて

吾妻線・上越線沿線地域とのつながりを大切に、新しい魅力を発見・発信していくプロジェクトチームです。

JR東日本高崎支社の現業機関で勤務する若手社員を中心に構成しています。

(※2) 「daywork」について

1日単位で農業に従事したい人と生産者をつなぐスマートフォンアプリです。

副業や空き時間の活用手段として農業を選べる仕組みを提供しています。



(※3) 「daywork」法人向け利用機能について

企業は法人会員として登録し、従業員が副業やボランティアとして農業求人に応募可能です。

企業名は生産者に通知され、管理画面で副業状況を把握でき、労務管理が効率化されます。

※ 内容は一部変更または中止となる場合があります。

※ イラスト、写真はすべてイメージです。

※ 情報は2025年12月現在のものです。

【地域の農業を元気に！】JR東日本高崎支社が取り組む援農プログラムin昭和村

【昭和村】

- 援農プログラムの受入地としての運営
- 地域農業の魅力発信・関係人口創出の推進
- 農家との連絡調整と現地運営
- 受入体制の整備と、現地運用手順の確立
- 参加者との意見交換・交流機会の提供

【JA利根沼田】

- 農家ネットワークの提供・調整
- 農産物PR・販路拡大に向けた連携推進
- 生産者・地域産品の情報発信支援
- 副業人材受入体制・運用の支援
- 「daywork」アプリの普及・活用促進

【JR東日本】

- 援農プログラムの主催、企画・推進
- 社員の研修・副業を通じた農作業支援の推進
- 物流等を通じた農産物PR・販路拡大の推進
- 援農プログラムへの一般参加枠の設定・拡大
- 援農プログラムの確立、他地域への展開準備

